

Y E V G E N Y S U D B I N

21世紀の最も才能あるピアニストの一人、…スドビンはすでに巨匠の域に達している。

エフゲニー・スドビン

ピアノ・リサイタル

D.スカルラッティ：ソナタト短調
：ソナタト長調 K.455
ハイドン：ピアノ・ソナタ 第47番 口短調 Hob.XVI:32
ドビュッシー：喜びの島
メトネル：悲劇的ソナタ op.39-5
スクリャーピン：ピアノ・ソナタ第5番 op.53

2012年 **10月16日**(火)

19:00開演 / 18時30分開場

Tue. 16th October, 2012 7:00pm



すみだトリフォニーホール

Sumida Triphony Hall

■チケットのご予約・お問合せ

ユーラシック
03-3481-8788

トリフォニーホールチケットセンター
03-5608-1212

チケットぴあ (P-コード: 168-604)
0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>

e+(イープラス)
<http://eplus.jp>

東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650

■全席指定

S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円

*トリフォニークラブ会員は前売のみ各10%引き
(トリフォニーホールチケットセンターのみ受付)

主催：ユーラシック

共催：すみだトリフォニーホール

協力：キングインターナショナル

お問合せ：ユーラシック 03-3481-8788

魔法の音——青澤隆明

ほんとうに特別なピアニストは、特別な音をもっている。ただひとつの音の響きで、空間や時間の質をたちまち変容させてしまう。精神の佇まいがそのまま音として放たれたような、と云えばいいのか、存在のすべてが一刀の瞬きのうちに研ぎ澄まされた、とでも称えればよいのか——。

エフゲニー・スドビンはおそらく、そうした魔法の音をもつピアニストだ。独特の佇まいをもって舞台に現れ、ピアノに行儀よく向きあい、直角に近く居ずまいを正した姿勢から、鮮やかに垂直性の高い音の運動を導き出す。2011年の初来日リサイタルでは得意のスカラッチェから、ショパン、リスト、ラヴェル、ショスタコーヴィチにいたる多種多様な作品に臨み、一貫して真面目で入念な、技術的にも精神的にも安定した演奏を聴かせた。ピアノを弾く姿にかぎらず、どこか全体が儀式のように思えてくるのは、その演奏が鬼気迫る情感や劇的な昂揚を秘めながら、きわめて明解な視座を崩さないことにもよる。しかしスドビンの畏怖すべき真価が立ち顕れてくるのは、さらなる自由が希求されてこそだろう。

今回もまた、独自に練り上げられた濃密なプログラムが組まれている。冒険的な再会を期待したい。

PROFILE

スカラッチェのソナタ集で2005年CDデビューし、圧倒的な批評の賞賛を浴びる。それに続くラフマニノフの録音とリサイタル、さらにチャイコフスキーとメトネルのピアノ協奏曲第1番で、世界でもっとも興味深く刺激的な若手演奏家の一人と高い評判を得ている。また2007年のスクリャーピンの録音はBBCミュージック・マガジン月間ベスト、デイリー・テレグラフ年間ベスト、カンヌのMIDEMクラシック・アワード2008の最優秀器楽CD賞を受賞。

1980年サンクトペテルブルク生まれ。幼少の頃から優れた音楽的才能を発揮し、1987年にはサンクトペテルブルク音楽院へ入学。90年にベルリンで研鑽を積んだ後、97年よりロンドンに居を構え、王立音楽院でクリストファー・エルトンに師事。その間にイタリア、コモ湖国際ピアノアカデミー参加、マレイ・ベライヤ、クロード・フランク、レオン・フライシャー、ステイヴン・ハフ、アレキサンダー・ザッツにも師事する。

06年にヨーロッパ、北欧ツアーのほか、大絶賛されたカナダとアメリカツアーを実現。また、フリック・コレクション・シリーズでニューヨーク・デビューを果し、07年アメリカのアスペン音楽祭、フランスのラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、ニューヨークのメトロポリタン博物館ピアノ・フォルテ・シリーズでデビューをする。さらに、ヴェル

ビエ音楽祭への出演のほか、ハンブルクのムジークハレ、ライブツィヒのゲヴァントハウス、ベルリンのシャウシュピール・ハウス、パリのサル・ガヴォ、ロンドンのサウス・バンク・センターでリサイタルを行う。加えて2010年春、一流ピアニストが出演することで有名なロンドンのサウス・バンクで開催される国際ピアノシリーズに出演。同年10月、アムステルダム・コンセルトヘボウ大ホールデビューリサイタルを果たし大成功を収め、2011/2012年シーズンにも招待される。

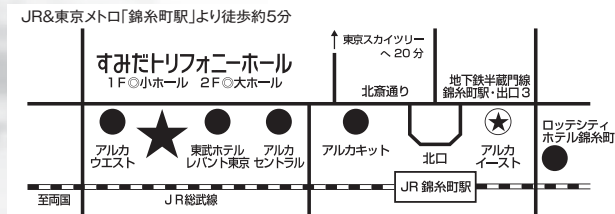
2009/2010年シーズンでは、トーンハレ(チューリッヒ)、ウイグモア・ホールのマスターシリーズ(ロンドン)、サンフランシスコ、ギルモア音楽祭等著名ホールでリサイタルを開催。また、ネーメ・ヤルヴィ指揮ロンドン・フィルとスクリャーピンのピアノ協奏曲をトゥガン・ソヒエフとショスタコーヴィチのピアノ協奏曲第2番を、オスモ・ヴァンスカ指揮ミネソタ交響楽団とベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番を共演。また、オスモ・ヴァンスカ指揮ミネソタ交響楽団とは、ベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲録音が進行中で、すでに第4番と第5番がリリースされている。

これまでに、ウラディーミル・アシュケナージ指揮サンフランシスコ交響楽団、ネーメ・ヤルヴィ指揮ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団とのロイヤル・フェスティバル・ホール・シリーズで共演、2008年にはヤン・バスカル・トルトゥリエ指揮BBCフィルハーモニックとの共演でBBCプロムス・デビューを果たす。2009年には、オスモ・ヴァンスカ指揮モーストリー・モーツァルト・フェスティバル・オーケストラとニューヨークのリンカーンセンターでベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番を共演。

2011年1月初来日、埼玉と東京でリサイタルを行う。

エフゲニー・スドビン2012

- 10月12日(金)名古屋・愛知県芸術劇場 コンサートホール
[問] 名フィルチケットガイド Tel.052-339-5666
- 10月13日(土)名古屋・愛知県芸術劇場 コンサートホール
[問] 名フィルチケットガイド Tel.052-339-5666
- 10月15日(月)名古屋・宗次ホール
[問] 宗次ホールチケットセンター Tel.052-265-1718
- 10月16日(火)東京・すみだトリフォニーホール
[問] ユーラシック Tel.03-3481-8788

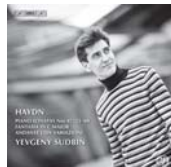


スドビン BIS 名演集

お問い合わせ 03-3945-2333
輸入・販売元：
(株) キングインターナショナル



スカラッチェ：ソナタ集 (全18曲)
BIS.1508



ハイドン：
ピアノソナタ第47番短調/第60番長調/第53番短調/幻想曲ハ長調/アンダンテと変奏
BIS SA.1788 (SACD HYBRID)



ショパン：
幻想曲/バラード第3番; 第4番/ノクターン Op.27の1; Op.48の1; Op.55の2/マズルカ Op.7の3; Op.33の2,4; Op.24の4; Op.50の3/スドビン：小犬のワルツ・バラフレーズ
BIS SA.1838 (SACD HYBRID)

全点直輸入盤 (日本語解説書なし) オープン・ブレイス